

市民と議会との語る会実施報告書

日 時	令和 8 年 5 月 7 日（木） 午後 7 時 ～ 午後 8 時 3 0 分頃
会 場	武生西公民館
出 席 議 員	佐々木哲夫、近藤光広、能勢淳一郎、砂田竜一、城戸茂夫
参 加 者（市 民）	2 4 名
司会（班長） 議会報告者 全体記録係	司 会 ：佐々木 哲夫 議員 議 会 報 告 ：砂田 竜一 議員 記 録 ：近藤 光広 議員
【1部】 定例会概要報告等 （報告者）砂田議員	<p>1 全天候型キッズパークについて</p> <p>Q 全天候型キッズパークについて、だるまちゃん広場のある武生中央公園に整備するという考えは、これまで議員の中になかったのか。</p> <p>A 今回の事業は県の補助事業であり、総額 1 億円を 17 市町に均等配分し、各市町が工夫して整備するものである。 市内では川西地域には既にアル・プラザ武生 3 階に屋内施設があるため、川東地域（味真野・今立方面など）からの要望を踏まえ、楽市に整備する方向で議論したものである。</p> <p>2 デジタル学習基盤の整備について</p> <p>Q いじめ・不登校だけでなく、自閉症や引きこもりの方への支援について議会で議論されているのか。</p> <p>A そういったことを専門に取り組んでいる議員もおり、個別に議論はされているが、十分な議論はできていない状況にある。</p> <p>Q AI を活用した教育事業について、教員とのコミュニケーションを今後どのように考えているのか。</p> <p>A 教員とのコミュニケーションについては、教育委員会も対応しているが、教員不足や生徒の多様化により課題があることは議会でも認識している。 検討している AI 教材については、他県の導入事例で一定の成果が報告されており、教員とのコミュニケーションが円滑になった事例もある。今後も議会として状況を注視し、課題として取り上げていく考えである。</p> <p>3 外国人への対応について</p> <p>Q 暮らし応援商品券や住宅支援制度の支給対象は、日本国籍の者に限られるのか。</p> <p>また、西地区では外国人住民の割合が高いが、今後の外国人流入について市や議会はどのように考えているのか。歯止めをかける考えはあ</p>

	<p>るのか。</p> <p>A 越前市では「市民」であれば国籍による制限なく支援制度の対象となるという認識である。</p> <p>外国人住民の増加については国全体の課題であり、市としても様々な意見が存在することは承知している。</p> <p>外国人住民との多文化共生を進める必要がある一方で、ゴミ出しなど生活ルールに関する課題があることも認識している。</p> <p>福井県は有効求人倍率が全国上位にあり、労働力不足のため外国人労働者に依存せざるを得ない現状がある。産業政策と人口減少対策の中で外国人住民が増加し、特定地域で課題が顕在化している状況である。</p> <p>今後は議会としても外国人政策について本格的に議論していく必要があると認識している。</p>
<p>【2部】</p> <p>意見交換会 (A班)</p> <p>進行：能勢議員 記録：砂田議員 城戸議員</p>	<p>1 越前たけふ駅・道の駅の駐車場について</p> <p>Q 北陸新幹線越前たけふ駅の駐車場について、連休時などは満車で利用できない。料金体系や今後の対策はどうなっているのか。</p> <p>A 駐車場については混雑が深刻であるため、対策として有料化を進める方針である。料金設定や工事時期については今年度中の実施に向け調整中である。有料化の効果を見ながら、今後の対応を判断する考えである。</p> <p>Q 道の駅越前たけふの駐車場に大型トラックが多く停車しているが、規制や契約があるのか。また、一般利用者が利用できない場合があるのはなぜか。</p> <p>A 道の駅は原則として24時間利用を前提としており、大型車両の駐車スペース確保が必要である。国の補助事業で整備されているため運用上の制約もある。混雑時には誘導員配置や規制を行う場合がある。</p> <p>Q 新幹線チケット所持者が駐車できない状況があるが、改善策はあるのか。</p> <p>A 駐車場不足により利用者が駐車できない事例が発生しているため、有料化により長時間利用の抑制を図る考えである。今後も状況を見ながら段階的に改善に取り組む。</p> <p>2 自治振興会について</p> <p>Q 自治振興会や町内会の担い手不足について、行政との関係改善はどの程度進んでいるのか。</p> <p>A 行政からの依頼業務が多すぎることで担い手不足の一因であるため、</p>

業務削減の取組を進めている。また、人口減少や就労環境の変化も影響しているため、女性参画の促進などを含め、現在検討を進めている段階である。

Q 行政職員は選挙時など高い組織力を発揮しているが、平時に地域と関わる体制を強化できないか。

A 地域との関係強化は重要であり、職員の関わり方については今後の課題として認識されている。地域と行政がより密接に連携できる体制づくりが必要である。

Q 自治振興会の本来の趣旨が薄れ、行政の下請け的になっているのではないか。

A 本来は地域課題を地域で解決するための組織として発足したが、事業の継続や制度運用の中で形骸化している側面がある。現在、原点に立ち返り見直しを進めている。

Q 自治振興会の組織規模が過大化し、町内間の人口格差も大きい。今後の再編や見直しの考えはあるのか。

A 地区ごとの人口格差が大きく、同一の仕組みで運営することに課題がある。組織の簡素化や再編の必要性も含め検討すべき課題である。

3 近隣関係の希薄化について

Q 地域活動の基盤である近隣関係が希薄化しているが、どのように考えるか。

A 地域づくりの基本は近隣関係であり、生活様式の変化によりその基盤が弱まっていることが課題である。コミュニティの再構築が求められている。

4 環境問題について

Q 川の草の繁茂やゴミの滞留など環境問題が深刻であるが、対応はどうか。

A 河川管理は県の所管であり、要望は行っているが予算の制約から十分な対応が難しい状況である。今後も継続的に要望していく必要がある。

5 コンパクトシティについて

Q 住宅支援制度やコンパクトシティについてどうなっているのか。

A 中心市街地への誘導政策は継続しており、対象区域では補助が上乘せされるなどの制度がある。ただし地域間格差の課題も生じている。

<p>(B班) 進行：近藤議員 記録：佐々木議員</p>	<p>Q 農地転用や宅地開発により人口が特定地区に集中している。市の誘導政策は適切か。</p> <p>A 農地転用は農業委員会や都市計画の枠組みに基づき許可されている。人口誘導とのバランスについては課題として認識している。</p> <p>6 道路等の維持管理について</p> <p>Q 道路や護岸の老朽化、舗装不良などインフラの維持管理に課題がある。対応はどうか。</p> <p>A 現地の状況確認が必要であり、関係部署と連携して対応を検討する。優先順位を踏まえた整備が必要である。</p> <p>Q 越前たけふ駅周辺への企業進出に伴い通勤者が増加しており、歩道の狭さや老朽化による安全性に課題がある。改善できないか。</p> <p>A 歩行者の安全確保は重要であり、交通量増加を踏まえた歩道整備や維持管理の見直しが必要である。</p> <p>1 河川管理について</p> <p>Q 河川の雑草が繁茂しており対応を求めたが、土木事務所では対応してもらえなかった。どのように要望すれば対応してもらえるのか。</p> <p>A 過去には予算の都合で対応された事例もある。県議会議員などと連携し、粘り強く要望していくことが必要である。</p> <p>2 外国人対応・ごみ問題について</p> <p>Q 外国人住民によるごみ出し問題がある。チラシを翻訳しても効果が薄い。今後集合住宅に住んでいる外国人と日本人を集めて出前講座を実施したいと考えているが、土日祝や時間外は対応できないと市に言われた。どうしたらいいか。</p> <p>A 出前講座を実施しても、なかなか出てきてくれるとは限らない。別の集合住宅で、ゴミステーションを設置してもらって解決した事例もある。ゴミのことは管理会社でどうにかしてもらおうように問い合わせしてみてもいい。</p> <p>3 しきぶ温泉湯楽里の今後について</p> <p>Q 温泉施設について、施設の在り方が不明確である。今後の方針を明確にし、必要な見直しを行うべきではないか。希望としては残して欲しい。</p> <p>A 施設の方針やあり方について、専門家を交えながら市の方で検討していくことになっている。</p>
--	---

4 武生西公民館の耐震化について

Q 西公民館の耐震化はいつ実施されるのか。

A 現在公民館が次々と整備されているので、西公民館もここ数年以内の実施になるかと思う。

5 融雪について

Q 高齢者の一人暮らし女性が多いところに融雪を設置して欲しいと市に要望している。設置するとは言われているが、いつになるか不明瞭である。

A 引き続き要望を続けてほしい。

6 暮らし応援商品券の検証について

Q 商品券事業の効果について、検証を行ってほしい。

A 事業効果について整理し、適切な検証を行っていく。

7 学校の統廃合について

Q 学校の統廃合について、今後坂口だけではなくいろんなところで起きる可能性がある。今後の方針はどうなっているのか。

A 統廃合および小中一貫校については現在議論を進めている状況である。今後の方針については議会としても注視していきたい。

8 地区体育協会の体制について

Q 地区体育協会の体制はどうなっているのか。国高ではレクリエーションが中心になっていると聞いた。

A 現状は一部の担い手を中心に運営されているが、このままでは体協自体がなくなる可能性もある。体制維持が課題である。

9 越前たけふ駅駐車場について

Q 北陸新幹線越前たけふ駅の駐車場が満車で利用しづらい。今後どうなるのか。

A 有料化が検討されており、新幹線利用者に対する割引や一定時間無料などの仕組みが導入される見込みである。

10 地域活動の担い手不足について

Q 振興会等の担い手不足が深刻である。不要な事業の見直しも含め議論が必要ではないか。

A 担い手不足は重要課題であり、事業の精査を含めた議論が求められている。

	<p>11 その他意見 (意見)</p> <p>① 新幹線駅の駐車料金は高くてもいいので利用者が止められるようにして欲しい。</p> <p>② デマンド交通を日曜日も運行して欲しい。</p> <p>③ 「手のひら市役所」を進めているとのことだが、市全体としてDXをさらに推進してほしい。</p>
--	---

令和8年5月7日

越前市議会 議長 様

第3班 班長 佐々木 哲夫